

組み立て方

- 濡れた手では絶対に行わないでください。感電、故障の原因となります。
- 必ず取り付け順序に従ってください。不備があると落下や転倒、けがの原因となります。

取り付け、取り外しは必ず大人2人以上で行って下さい。

取り付けの前に

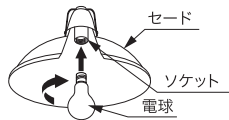
天井配線器具の種類をお確かめ下さい。



- 配線器具がひび割れたり、破損している場合は危険です。落下の恐れがあるので、かならず配線器具を取り替えてください。
- 配線器具が付いていない場合は、配線器具を取り付けてください。
- 配線器具の取り付け、取り替えは専門の工事が必要です。

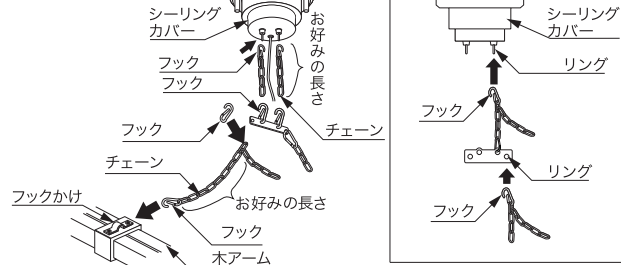
①電球の取り付け

電球をソケットに右に回して、取り付けください。



②チェーンの調整

- お好みのチェーンの長さになるようにフックを調整してください。
- フックをリングにしっかりと引掛けてください。



必ず左右のチェーンで同じ調整を行って下さい。

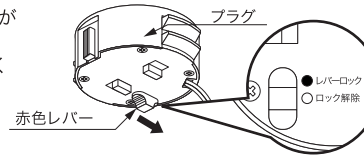
警告 WAR.

高さ(チェーン)調整を行う際は、本製品を天井に取り付けた状態ではなく、天井から取り外した状態で行ってください。
※感電・落下・ケガ・火傷の原因になります。

高さ(チェーン)調整の注意

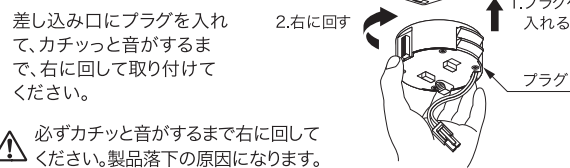
- 高さ(チェーン)を調整する前に思わぬ事故を防ぐ為にも、必ず軍手や手袋を着用してください。
- チェーンをペンチなどの特別な工具を使用してお好みの長さに調整してください。
工具を使用するにあたって思わぬ事故を防ぐためにも工具の取扱説明書をよく読み安全に使用してください。
チェーンの取り外しの際は、電源コードを傷つけないように注意してください。
- チェーンの長さが調整できましたら、再度しっかりと固定されているか確認をしてください。
チェーンがしっかりと取り付けられていないと製品が落下し、思わぬ大きな事故になる場合があります。
コードは絶対に切ったりせず、そのままの長さで使用してください。

- ③プラグ裏の赤色レバーが「○ロック解除」に合せてあるか、確かめてください。



警告 WAR. 赤色レバーが「●レバーロック」に合せてある場合は取り付け前に、「○ロック解除」に合せてください。赤色レバーが「●レバーロック」に合せてあると、引っ掛け刃がロックされて、プラグがシーリングプレートを通りません。

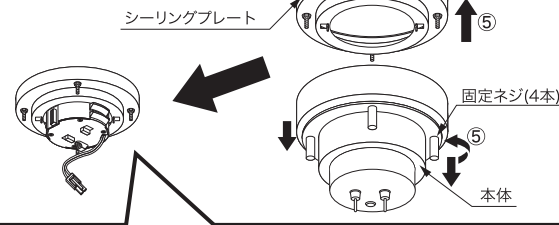
- ④プラグを天井配線器具に取り付けてください。



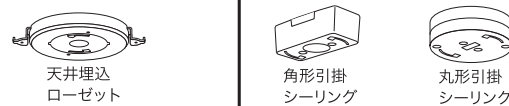
- 必ずカチッと音がするまで右に回してください。製品落下の原因になります。
- 取り付け後、必ずしっかりと取り付けられているかご確認ください。

- ⑤本体の固定ネジを外し、シーリングプレートを取り出します。

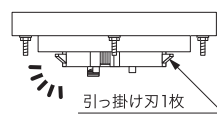
- ⑥シーリングプレートをプラグに取り付けてください。プラグにシーリングプレートを通し、しっかりと奥まで差し込んでください。



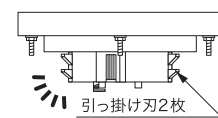
天井配線器具によって取り付け完了時のプラグの位置が違います。



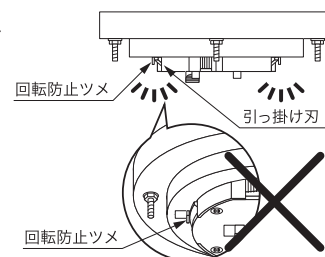
天井埋込みローゼットの場合、プラグの引っ掛け刃が1枚出るように取り付けください。



角形引掛シーリングと丸形引掛シーリングの場合、プラグの引っ掛け刃が2枚出るように取り付けください。

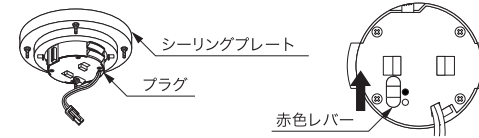


- この時、回転防止ツメにプラグの引っ掛け刃が接触しない様にして下さい。落下の原因になります。



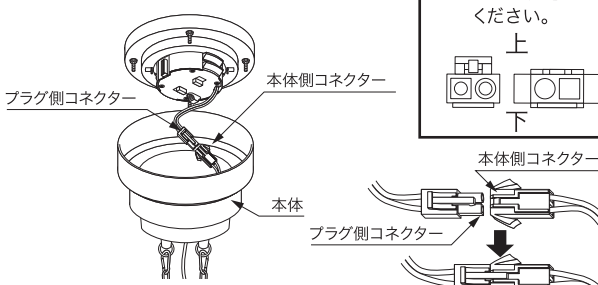
警告 WAR. 取り付け後、必ずしっかりと取り付けられているかご確認ください。

- ⑦シーリングプレートを取り付けた後、プラグ裏の赤色レバーを「●レバーロック」に合せてください。



警告 WAR. プラグの引っ掛け刃が回転防止ツメに接触している場合は赤色のレバーが動きません。必ずプラグの引っ掛け刃が完全に出た状態で赤色レバーを「●レバーロック」に合せてください。

- ⑧本体をしっかりと持ち上げ、プラグ側のコネクターと、本体側のコネクターを繋ぎます。

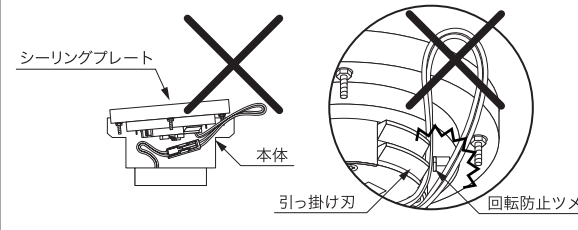


警告 WAR. コネクターを繋ぐ時は本体を持ち上げてコードやコネクターに荷重がかからない様にしてください。コードやコネクター単体で本体重量を支える設計にはなっていません。取り付け後、必ずしっかりと取り付けられているかご確認ください。

- ⑨本体を持ち上げ、ネジ山を本体のシーリングカバー穴に通します。
⑩固定ネジ(4本)をしっかりと締めてください。

- 固定ネジは、必ずしっかりと締めてください。固定ネジがゆるんでいると落下の原因となります。

- 本体とシーリングプレートの間や、回転防止ツメなどにコードを挟まない様にご注意ください。感電、故障の原因となります。



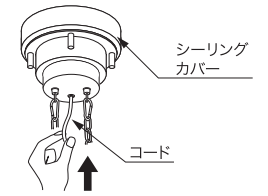
- ⑪本体の角度を決めます。取り付け完了後の本体の可動範囲は、約130度です。

- 点灯中は可動しないで下さい。可動範囲を超えて無理に可動させたり、周囲の物に触れる位置での使用は絶対にしないでください。故障、やけど、過熱の原因となります。

商品についてのアフターサービスやお問い合わせは

- ⑫コード調節

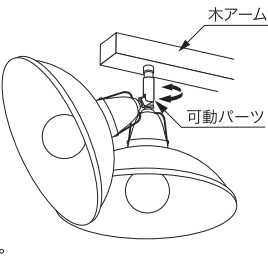
あまったコードは押し上げてシーリングカバーに収納して下さい。



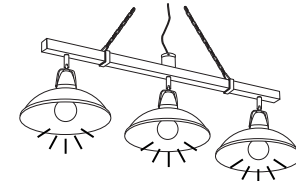
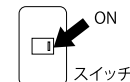
- あまったコードが電球やセードに付かない様に、シーリングカバーの中に入れて長さを調節して使用してください。
- チェーンよりコードを短くすると製品の重量をコードで支える事になり断線やショート・落下の原因になり大変危険です。

■セードの可動について

- 点灯中は可動しないでください。可動させる時は消灯し温度が低くなってから可動してください。また、可動させる時は片方の手で木アームを持ちながら、セードの向きを可動してください。可動範囲を超えて無理に可動させたり、周囲の物に触れる位置での使用は絶対にしないでください。故障、やけど、過熱の原因となります。



- セットができれば壁スイッチを入れて、点灯を確かめて下さい。



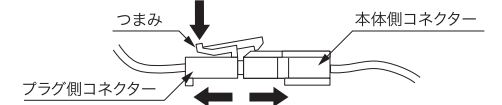
取り外し方

取り付けした順番と逆の順序で(⑩～③)取り外してください。

- 取り付け、取り外しは必ず大人2人以上で行ってください。

■コネクターの取り外し

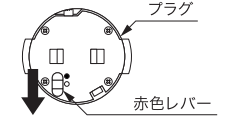
プラグ側のコネクターのつまみを押しながらかしめます。



警告 WAR. コネクターを外す時は本体を持ち上げてコードやコネクターに荷重がかからない様にしてください。コードやコネクター単体で本体重量を支える設計にはなっていません。

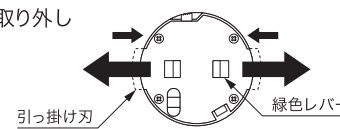
■赤色レバー解除方法

プラグ裏の赤色レバーを「○ロック解除」に合せてください。



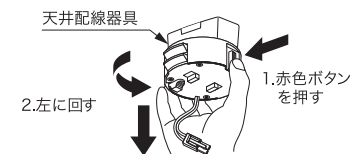
■シーリングプレートの取り外し

プラグ裏の緑色レバーを矢印の方向に引っ張り、プラグの引っ掛け刃を内側に入れます。



■プラグの取り外し

プラグ横の赤色ボタンを押しながらかしめます。



安全のため、ご使用前に必ずお読みください。

取扱説明書

INTERFORM INC.

この器具は日本国内でのみ使用できます。日本国外では使用できません。

この取扱説明書はいつでも必要な時にご覧いただけるように大切に保管してください。

保存用

この度は当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。お客様の安全と、当製品を末長くご利用いただく為に、ご使用前にこの取扱説明書を必ずご覧になり、よくご理解いただいた上、正しくご使用ください。

取扱説明書で使用しているマーク

警告 WAR. 「警告」人身事故の原因になる危険を示します。

注意 CAU. 「注意」器具破損の原因になる危険を示します。

このマークのついている説明文は必ず守ってください。

このマークのついている説明文は特に注意してください。

電球の交換

点灯中や消灯直後は器具及び電球が高温になっています。しばらくしてから行ってください。

- 必ず電源を切ってから行ってください。
- 組立て方を参考に指定の電球と交換してください。
(指定電球は器具に表示してある電球シールをご確認ください)



お手入れ

必ず電源を切ってから行ってください。

安全のために、約6ヶ月ごとに清掃、点検を行ない、接合部のゆるみ及び器具や電球に損傷がないかを確認してください。異常がありましたら使用をやめ、お買上げ店か当社までご相談ください。

器具の汚れは柔らかい布か、中性洗剤を含ませた柔らかい布をよく絞ってから、軽く拭き取ってください。

シンナーやベンジン等、揮発性のものので拭いたり、殺虫剤をかけないでください。変質、故障の原因となります。

器具を丸ごと水洗いしないでください。感電、焼損、故障、サビの原因となります。

セードの汚れはハキで軽くたたいて落としてください。丸洗いはしないでください。変形、変色、故障の原因となります。

廃棄

ご使用后廃棄される場合は清掃回収者の安全面に充分配慮して処理していただきますようお願いいたします。

設置場所

- 警告 WAR.**
 - 不安定な場所やまくら元、ベッドでのご使用は絶対におやめください。火災、焼損、やけどの原因になります。
 - 器具を取付ける天井の強度を確認し、重量に耐える場所に確実に行ってください。強度が不足している場合は補強工事をしてから取付けてください。器具落下によるケガの原因になります。
 - 光源と被射体、壁との距離は15cm以上離してください。火災や被射体、器具の変形、変色、焼損の原因になります。
 - この器具は非防水です。湿気の多い場所や水のかかる場所ではご使用になれません。火災、感電、絶縁不良の原因になります。
 - 異常な振動や衝撃、腐食性ガスや可燃ガス、粉塵等の影響を受ける場所では使用しないでください。火災、感電、落下、サビの原因になります。
 - サウナ風呂等の高温の場所では使用できません。火災、焼損、やけどの原因になります。

- 注意 CAU.**
 - この器具は屋内専用器具です。屋外では使用できません。火災、感電、故障の原因になります。
 - 寒暖の差の激しい場所では使用しないでください。感電、絶縁不良、電球破損、器具内部の結露の原因になります。
 - この器具は周囲温度5℃~35℃、湿度45%~85%の中で使用してください。低温時、暗くなったり点灯しないことがあり、高温多湿下では焼損、過熱、故障、変色の原因になります。
 - セードやランプの着脱、取付けは両手で静かに扱い、確実に行ってください。器具落下によるケガの原因となります。

ご使用にあたって

- 警告 WAR.**
 - 指定の電球以外は使用しないでください。焼損、過熱、変色、変形の原因になります。
 - 指定のセード以外は使用しないでください。火災、焼損、過熱、変色、故障の原因になります。
 - 濡れた手で触らないでください。感電の原因になります。
 - 点灯中及び消灯直後は器具及び電球が高温になっていますので素手で触らないでください。やけどの原因になります。
 - 器具や電球を布や紙、アルミ箔等で覆って使用しないでください。火災、焼損、過熱、故障、変形の原因になります。
 - 点灯したまま器具を持ち運ばないでください。電線の損傷、火災、感電の原因となります。
 - 電球外管が割れた場合は絶対に点灯しないでください。感電の原因になります。
 - 器具のすき間や放熱穴等に金属類（針金、スプーン等）を差し込まないでください。感電、故障の原因になります。
 - 器具の下にストーブ等、高温の物を置かないでください。燃えやすいものを近づけて使用しないでください。火災、損傷、過熱、故障、変形の原因になります。
- 器具から煙が出たり変な臭いがしたときは速やかに電源を切り、お買上げ店か当社までご相談ください。火災、落下、ケガの原因になります。

- 注意 CAU.**
 - 器具や電源コードを無理に引っ張ったり、回転させたり、ねじったり曲げたりしないでください。器具落下によるケガ、感電、故障の原因になります。
 - 電源コードが損傷した場合(芯線の露出、断線等)速やかにお買上げ店か当社まで修理を依頼してください。そのまま使用すると火災、感電の原因になります。
 - 器具の定格電圧と電源電圧を必ず確認してください。間違えて器具に過電圧を加えると電球の短寿命及び火災、過熱の原因になります。
 - 器具に注意シールが貼付されている場合はその指示に従ってください。守っていただかないと火災、感電、落下、ケガ、故障の原因になります。
 - 器具や電球に着色等をしないでください。焼損、過熱、故障の原因になります。
 - 器具を改造したり部品を追加、変更して使用しないでください。感電、落下、焼損、過熱、変形、変色の原因になります。
- ご使用にならないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

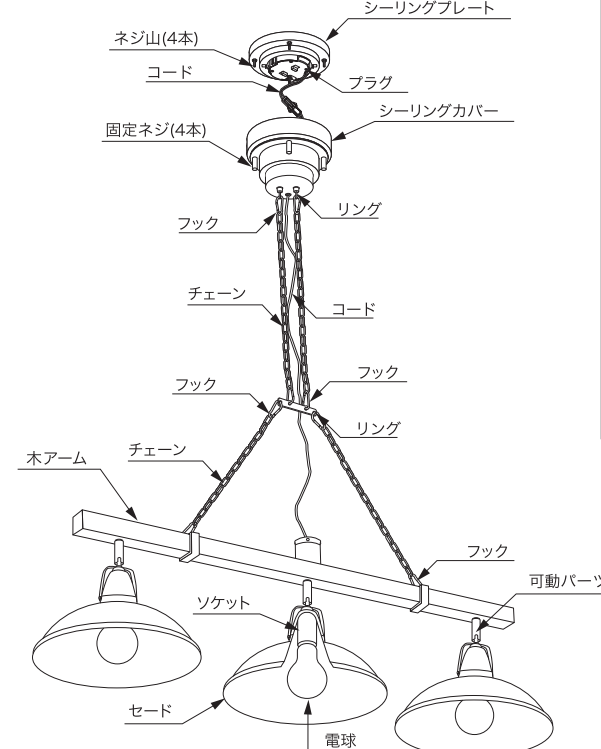
- 目の健康のために部屋の照明を併用して、スタンドの光源が直接目にあたらないように角度を調節してご使用ください。
- 電球を取り付ける際、また器具を点灯させる前に電球とソケットの金具部分にホコリやゴミ等の異物が付着していないか確認してください。ホコリ等異物がある場合は電源プラグをコンセントから抜いた状態で、ホコリなどの異物を拭き取ってください。焼損、過熱、火災、故障の原因になります。

LT-8255/8257/8258

白熱灯/LED電球ペンダントライト

各部の名称

まず各部の有無を確認し、不備の際はお買上げ店か当社までご連絡ください。



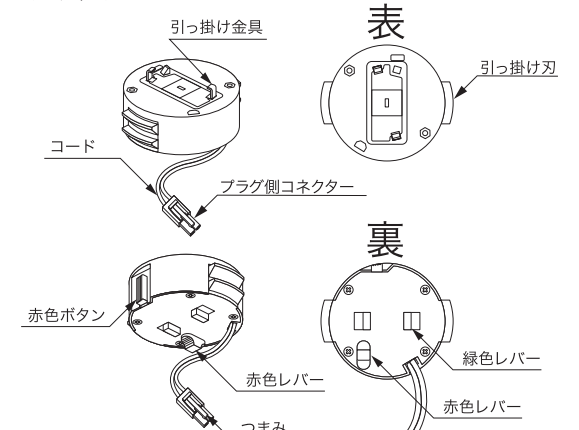
図は一部抽象化した共通部品図です。

下記の天井配線器具に取り付けることができます。



- 配線器具がひび割れたり、破損している場合は危険です。落下の恐れがあるので、かならず配線器具を取り替えてください。
- 配線器具が付いていない場合は、配線器具を取り付けてください。
- 配線器具の取り付け、取り替えは専門の工事が必要です。

■プラグについて



※プラグには、赤色ボタン(天井側のロック解除用)と赤色レバー(器具側のロック用)があります。

